



# 平成20年2月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月17日

上場会社名 **株式会社ドトール・日レスホールディングス** 上場取引所 東証第一部  
 コード番号 **3087** URL <http://www.dnh.co.jp/>  
 代表者 代表取締役社長 鳥羽 豊  
 問合せ責任者 取締役 木高 毅史 TEL (03)5459-9178 (代表)

(百万円未満切捨)

## 1. 平成20年2月期第3四半期の連結業績(平成19年3月1日～平成19年11月30日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年2月期第3四半期	76,128	—	7,585	—	7,902	—	4,265	—
19年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
(参考) 19年2月期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭
20年2月期第3四半期	84	50
19年2月期第3四半期	—	—
(参考) 19年2月期	—	—

(注) 当社は平成19年10月1日に(株)ドトールコーヒー(以下、ドトールコーヒー)と日本レストランシステム(株)(以下、日本レストランシステム)が経営統合を行い、両社を完全子会社とした共同持株会社として設立されました。

四半期財務・業績の概況は当連結会計年度より作成しておりますので、前年同期及び前連結会計年度の実績は表示しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円	銭	
20年2月期第3四半期	90,805	—	74,555	—	82.1	1,478	29	
19年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	
(参考) 19年2月期	—	—	—	—	—	—	—	

## 2. 平成20年2月期の連結業績予想(平成19年3月1日～平成20年2月29日)

(%表示は対前年増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株あたり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	101,400	(—)	10,700	(—)	11,230	(—)	5,989	(—)	118	64

## 3. その他

当社は平成19年10月1日にドトールコーヒーと日本レストランシステムが経営統合を行い、両社を完全子会社とした共同持株会社として設立されました。また、この経営統合に伴う当社の会計処理は持分プーリング法を適用し、更に両子会社は当社にあわせ決算期を2月末日に変更いたしました。よって、当第3四半期連結会計期間は、平成19年3月1日から平成19年11月30日となっております。

上記の理由により、「期中における重要な子会社の異動」及び「最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無」は記載しておりません。

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

〔(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益が高水準で推移する一方、米国のサブプライムローン問題に起因する金融市場の混乱や原油価格を始めとする原材料の高騰などもあり、先行き不透明な状況となりました。

外食産業におきましては、食材の安全に対する消費者の意識の高まりに加え、食材価格の高騰や従業員確保の費用増加もあり、厳しい経営環境となりました。

このような状況の下、当社グループは、既存店の活性化や新規店舗の展開など営業基盤の拡充に取り組みました。

各事業会社の取組みは以下の通りであります。

ドトールコーヒーは、既存店の客数及び売上高が前年同期比を上回り堅調に推移しました。店舗展開につきましては、「バリッシモ」、「ごちそうグリル」といった新業態を開発するとともに、病院内への出店が9店舗など、引続きクローズドマーケットへの出店が順調に進んでおります。直営店においては、ドトールコーヒーショップ8店舗、エクセルシオール・カフェ14店舗、その他5店舗の27店舗を新規に出店しました。また、加盟店においては、ドトールコーヒーショップ24店舗、エクセルシオール・カフェ3店舗の27店舗を新規に出店しました。以上により直営・加盟店合計の新規出店は54店舗となりました。

日本レストランシステムは、味に徹底的にこだわり商品の価値を高めることとサービスの向上に注力し、「洋麺屋五右衛門」を始めとして新メニューの開発を行い既存店の活性化に努めました。また、「俵屋じゅう兵衛」、「若軍鶏」、「麦の詩」、「カフェ ブーケ」などの新業態を開発しました。店舗展開につきましては、立地を厳選して18店舗を新規に出店する一方、家主の事情等で4店舗を閉店しました。また、顧客の嗜好に合わせて15店舗を業態変更しました。さらに物流強化のために九州地区に物流センターを建設いたしました。

以上の結果、当第3四半期の売上高は761億28百万円、営業利益は75億85百万円、経常利益は79億2百万円、純利益は42億65百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報等

当第3四半期の財政状態は、資産合計が908億5百万円、負債合計が162億49百万円、純資産合計が745億55百万円となり、自己資本比率は82.1%となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績は、ほぼ計画した水準で推移しており、本資料の公表時点では平成19年10月1日に公表しました業績予想からの変更はありません。

### 4. その他

会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・法人税等の計上基準 法定実効税率をベースとした年間予想税率により計算しております。

## 4. (要約) 四半期連結財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	前第3四半期末 (平成18年11月30日)		当第3四半期末 (平成19年11月30日)		増 減		前連結会計年度 (平成19年2月28日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金	—		15,463		—	—	—	
2 受取手形及び売掛金	—		5,479		—	—	—	
3 有価証券	—		3,000		—	—	—	
4 たな卸資産	—		1,883		—	—	—	
5 繰延税金資産	—		939		—	—	—	
6 その他	—		1,322		—	—	—	
7 貸倒引当金	—		△67		—	—	—	
流動資産合計	—		28,020	30.9	—	—	—	
II 固定資産								
1 有形固定資産								
(1) 建物及び構築物	—		15,397		—	—	—	
(2) 土地	—		10,314		—	—	—	
(3) その他	—		3,622		—	—	—	
有形固定資産合計	—		29,334	32.3	—	—	—	
2 無形固定資産	—		1,564	1.7	—	—	—	
3 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	—		7,038		—	—	—	
(2) 差入保証金	—		20,482		—	—	—	
(3) 繰延税金資産	—		1,541		—	—	—	
(4) その他	—		2,824		—	—	—	
(5) 貸倒引当金	—		△0		—	—	—	
投資その他の資産合計	—		31,886	35.1	—	—	—	
固定資産合計	—		62,785	69.1	—	—	—	
資産合計	—		90,805	100.0	—	—	—	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

区分	前第3四半期末 (平成18年11月30日)		当第3四半期末 (平成19年11月30日)		増 減		前連結会計年度 (平成19年2月28日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(負債の部)								
I 流動負債								
1 支払手形及び買掛金	—		5,664		—	—	—	
2 短期借入金	—		520		—	—	—	
3 一年内返済予定 長期借入金	—		264		—	—	—	
4 未払法人税等	—		2,001		—	—	—	
5 賞与引当金	—		1,378		—	—	—	
6 役員賞与引当金	—		36		—	—	—	
7 その他	—		3,044		—	—	—	
流動負債合計	—		12,911	14.2	—	—	—	
II 固定負債								
1 長期借入金	—		60		—	—	—	
2 退職給付引当金	—		953		—	—	—	
3 その他	—		2,323		—	—	—	
固定負債合計	—		3,338	3.7	—	—	—	
負債合計	—		16,249	17.9	—	—	—	
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金	—		1,000		—	—	—	
2 資本剰余金	—		25,858		—	—	—	
3 利益剰余金	—		48,348		—	—	—	
4 自己株式	—		△357		—	—	—	
株主資本合計	—		74,849	82.4	—	—	—	
II 評価・換算差額等								
1 その他有価証券 評価差額金	—		△293		—	—	—	
評価・換算差額等合計	—		△293	△0.3	—	—	—	
純資産合計	—		74,555	82.1	—	—	—	
負債、純資産合計	—		90,805	100.0	—	—	—	

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期 (自平成18年3月1日 至平成18年11月30日)		当第3四半期 (自平成19年3月1日 至平成19年11月30日)		増減		前連結会計年度 (自平成18年3月1日 至平成19年2月28日)	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	増減率(%)	金額(百万円)	百分比(%)
I 売上高	—		76,128	100.0	—	—	—	
II 売上原価	—		31,663	41.6	—	—	—	
売上総利益	—		44,465	58.4	—	—	—	
III 販売費及び一般管理費	—		36,879	48.4	—	—	—	
営業利益	—		7,585	10.0	—	—	—	
IV 営業外収益	—		(372)	(0.5)	—	—	—	
1 受取利息	—		252		—	—	—	
2 受取配当金	—		7		—	—	—	
3 不動産賃貸収入	—		43		—	—	—	
4 投資有価証券売却益	—		1		—	—	—	
5 その他	—		66		—	—	—	
V 営業外費用	—		(55)	(0.1)	—	—	—	
1 支払利息	—		11		—	—	—	
2 不動産賃貸費用	—		13		—	—	—	
3 新株交付費	—		8		—	—	—	
4 創立費	—		7		—	—	—	
5 株式上場費用	—		11		—	—	—	
6 その他	—		2		—	—	—	
経常利益	—		7,902	10.4	—	—	—	
VI 特別利益	—		(437)	(0.6)	—	—	—	
1 固定資産売却益	—		5		—	—	—	
2 投資有価証券売却益	—		358		—	—	—	
3 保険解約益	—		49		—	—	—	
4 その他	—		23		—	—	—	
VII 特別損失	—		(843)	(1.1)	—	—	—	
1 固定資産除却損	—		127		—	—	—	
2 固定資産売却損	—		0		—	—	—	
3 店舗閉鎖損	—		128		—	—	—	
4 減損損失	—		283		—	—	—	
5 経営統合費用	—		265		—	—	—	
6 その他	—		36		—	—	—	
税金等調整前第3 四半期純利益	—		7,496	9.9	—	—	—	
税金費用	—		3,230	4.3	—	—	—	
第3四半期純利益	—		4,265	5.6	—	—	—	

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。